

1-4. 14:50～15:50

【講師】 有馬 卓也 (中国思想文化学分野 教授)

【演題】 古代中国の呪術系医学

【要旨】 医学が発達していない古代にあっては、医者 (doctor) が治療できる病気も非常に限られていました。このような医者が匙を投げた時には依然として呪術療法が生きていました。本日は古代中国の医療系文献を手がかりに、当時治療不可能であった病気に対し、呪術医 (medicine man) たちがどのように向き合っていたかを紹介します。

●15:50～16:00 第1日まとめ

●16:00～17:00 第1日目 受験相談会

2日目 11月24日 (日)

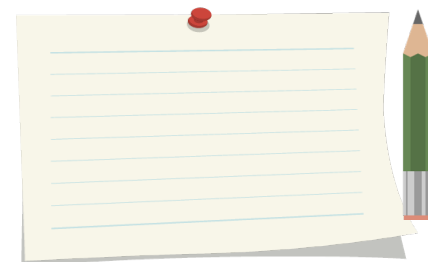
10:30～10:40 2日目 開会あいさつ

2-1. 10:40～11:40

【講師】 岡本 慎平 (倫理学分野 助教)

【演題】 古典SFから現実の「ロボットが守るべき倫理」を考える

【要旨】 「自律的に動作するロボットには、倫理的に行動するための制限が必要である」という考えの出発点として、アイザック・アシモフの作品に登場する「ロボット工学三原則」がよく参照されます。しかしこの三原則は目指すべき理想ではありません。表現が曖昧で、プログラムとして実装するのが困難で、そもそも作中のロボットたちすら三原則のせいで機能不全に陥ってしまいます。古典SFを参考にしながら、ロボットの倫理についていくつかのアイデアを検討してみましょう。



2-2. 11:50～12:50

【講師】 今林 修 (英語学分野 教授)

【演題】 ロンドン英語の昔と今

【要旨】 伝統的に、ロンドンのチープサイドにあるボウ教会の鐘の音が聞こえる範囲内に生まれた人々、もしくはその人々が話す下町語をコックニー (Cockney) といいます。今回は、コックニーをはじめ、ロンドン英語の特徴を歴史的に概観したいと考えています。チャールズ・ディケンズ (1812-70) が活躍したヴィクトリア朝のコックニーから出発して、ミュージカル『マイ・フェア・レディ』(1964) の花売り娘 (イライザ・ドゥーリトル) の訛を経て、現代のロンドン英語に至る道のりをみなさまと考えてみたいと思います。

12:50～13:40 休憩

2-3. 13:40～14:40

【講師】 溝渕 園子 (比較日本文化学分野 教授)

【演題】 トルストイ『戦争と平和』にみる歴史と個人の運命

【要旨】 「何のために数百万の人間がたがいに殺し合ったのか、世界の創造の時から、それは肉体的にも、精神的にも悪だということがわかっているのに？」一近代ロシアの小説『戦争と平和』のエピローグの一節です。1812年のナポレオン戦争を舞台に、恋に喜び、戦いに葛藤し、社会に翻弄される登場人物たちの姿から、歴史の大河と個人の運命とのつながりを考えます。レフ・トルストイの鋭い洞察と壮大なスケールで描かれた物語世界に触れてみましょう。

2-4. 14:50～15:50

【講師】 有元 伸子 (日本文学語学分野 教授)

【演題】 よみがえる「^{よろぼし}弱法師」説話 ～古典を変奏する近現代文学～

【要旨】 三島由紀夫が能楽を翻案した人気の戯曲集『近代能楽集』から、「^{よろぼし}弱法師」を取り上げます。美少年が無実の罪で零落し、流浪の末に四天王寺で心の目によって極楽浄土を見るという能の「弱法師」は、説経節の「しんとく丸」(俊徳丸・身毒丸)や歌舞伎の「摂州合邦辻」と同じ説話に基づいており、折口信夫や寺山修司らも作品化しています。日本古来の想像力を近現代の作家がどのように継承しながら変奏していったのか、考えてみましょう。

●15:50～16:00 閉式の辞

●16:00～17:00 第2日目 受験相談会

主催 広島大学文学部・NPO法人「本の学校」
後援 (株)今井書店グループ・米子市教育委員会